

2026年度 須磨学園夙川中学校入学試験

国 語

第 1 回

(注 意)

解答用紙は、この問題冊子の中央にはさんであります。まず、解答用紙を取り出して、受験番号シールを貼り、受験番号と名前を記入しなさい。

1. すべての問題を解答しなさい。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 字数制限のある問題については、記号、句読点も1字と数えること。
4. 試験終了後、解答用紙のみ提出し、問題冊子は持ち帰りなさい。

※ 設問の都合上、本文を一部変更している場合があります。

□ 次の文章は、鈴木俊貴『僕には鳥の言葉がわかる』の一部です。これを読んで、後の設問に答えなさい。

僕はコガラの鳴き声を録音しつつ、餌をとったタイミングや他の鳥たちが集まってきた順番などをできるだけ詳しく記録していった。そして、二十分ほど経った頃、数十粒はあったヒマワリの種はすべてなくなり、群れもどこかへ去っていった。

5 やはり、混群の仲間を呼ぶために鳴いているように思える。とにかく観察数を増やしていこう。

僕は、餌皿を置く↓観察する↓片づける、また別の場所に行き、餌皿を置く↓観察する↓片づけるという単純作業をひたすら繰り返すことにした。これで、鳴き声の意味に迫れるかもしれない。

——約二か月もの間、僕はこの実験を繰り返した。すると、いくつかのパターンがみえてきた。

15 まずいえるのは、餌を見つけた時に出す声は、それぞれの鳥の種類で決まっているということだ。以前から観察していた通り、コガラは「ディーディー」と鳴くし、シジュウカラは「ヂヂヂ」と鳴く。その声が森に響くと、他の鳥たちが次々と集まってきて、みなでヒマワリの種をついばみ始める。さらに実験を繰り返すと、ヤマガラにも同じような声があることに気がついた。ヤマガラの場合「ニーニー」と鳴き、群れを餌場にミチビク。

20 さらに興味深いことにも気がついた。鳴き声を出すのは、多くの場合、一羽で餌を発見した時なのだ。すでに餌場に他の鳥が集まっている時や、偶然他の鳥たちと同時に餌場に来た時には、こうした声はほとんど出さない。つまり、鳥たちは、まだ群れの仲間がヒマワリの種のソーンザイに気づいていない時にだけ鳴くようなのだ。そして、他の鳥が餌皿の近くまで集まると、鳴くのをやめて、ようやくヒマワリの種をつつき始める。

30 だが、まだ結論を急いではいけない。別の可能性も考えられる。たとえば、コガラの「ディーディー」やシジュウカラの「ヂヂヂ」は、「集まれ」という意味ではなくて、「こつちに来るな！」という意味かもしれない。見つけた餌を独り占めしようと、必死に鳴いているのかもしれないからだ。

35 こうした可能性を検証するにはどうしたらよいだろうか？
アイデアはすぐに浮かんだ。録音した鳴き声をスピーカーから流してやって、それを聞いた鳥たちの反応を調べてみればよいのである。

40 もし「集まれ」という意味であれば、鳴き声を聞いた鳥たちはスピーカーに近づいてくるだろう。一方で、「こつちに来るな！」という意味ならば、その場から離れていくかもしれないし、少なくとも、近づいてくることはないはずだ。

45 僕は録音した鳴き声をヘンシユウして、いくつかの音声ファイルを作った。コガラの「ディーディー」、シジュウカラの「ヂヂヂ」、ヤマガラの「ニーニー」など、それぞれの鳥の声を自然な頻度で繰り返した六十秒の音声ファイルだ。そして、スピーカーを森の中の適当な木に設置して、それらの音声を流してみた。ヒマワリの種はまかずに、スピーカーから鳴き声を流すだけに50した。鳴き声を聞かせる前に、鳥たちが集まってしまうのを防ぐためだ。

55 音声を流すとすぐに鳥たちが集まってきた。コガラの声を流した時は、コガラだけでなくシジュウカラやヤマガラまで集まってきた。シジュウカラやヤマガラの声にも、同様だけでなく他種の鳥たちまで寄ってくる。一方で、鳴き声を流さなかった実験や、混群に入らない鳥（ホオジロ）の声を聞かせた場合は、鳥たちはまったく集まってこなかった。

60 「やっぱり、仲間を呼ぶ声なんだ。人間の言葉でいうところの、『集まれ』という意味になっている！」と僕は思った。
あとは実験を繰り返し、統計学的な結論をミチビクだけである。僕は各種の音声ファイルをそれぞれ二十回ずつ流し、合計一〇〇回の実験をおこなった。

65 こうした実験を通して、コガラの「ディーディー」、シジュウカラの「ヂヂヂヂ」、ヤマガラの「ニーニー」は、すべて「集まれ」という意味になっていることが、やっとわかった。

70 当時、シジュウカラの「ヂヂヂヂ」を「警戒の声」として紹介している図鑑もあったが、その意味を科学的に確かめた研究は一つもなかった。それが今回、きちんと観察し、実験を試みることで、本当は「集まれ」という意味だとわかったのだ。「ひよつとしたら世界中で僕だけがシジュウカラたちの言葉を正しく理解できているのかもしれない」と特別な気持ちになった。

注1 コガラ：鳥の名前。後の「シジュウカラ」や「ヤマガラ」も同じ。

注2 混群：複数の種で形成された鳥の群れを指す。

注3 統計学：様々なデータを数字にして、どのようなことが分かるのかを考える学問。

一 設問

問一 ——線部A「この実験」とは、具体的にどのような実験ですか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 鳥の鳴き声を録音しつつ、加えて鳥の生態を詳しく記録する地道な実験。
- 2 鳥の鳴き声がどれだけ美しいものなのか、科学的に証明するための実験。
- 3 鳥の鳴き声は、鳥の種類で決まっていることを明らかにするための実験。
- 4 鳥の餌皿を置いて、観察後に片付ける単純作業を、愚直に繰り返す実験。
- 5 鳥の鳴き声が、混群の仲間を呼んでいるという事実を確かめるための実験。

問二 ——線部B「いくつかのパターン」とありますが、その内容についての説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 鳥の鳴き声の意味を知るために実験を繰り返すことで、鳥の鳴き声は無意味ではなかったのだと確信するに至った、いくつかの証拠。
- 2 約二か月もの間、ひたすら鳥を観察し続けることで見えてきた、鳥が仲間を呼ぶために鳴いていることを明らかにする鳴き声の法則。
- 3 長期間の鳥の観察で判明した、コガラ・シジュウカラ・ヤマガラは、混群を餌場にミチビク鳴き声が、それぞれ決まっているという発見。
- 4 餌を発見した時の鳥の鳴き声は、鳥の種類によって決まっており、たいていは一羽で餌を発見した時に鳴き声を発するといった傾向。
- 5 コガラ・シジュウカラ・ヤマガラは、それぞれ異なる鳴き声で、餌が近くにあることを混群の仲間に鳴いて知らせるといふ確かな事実。

問三 ——線部C「こうした可能性を検証する」とは、どういうことですか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 鳥の鳴き声はそれぞれ異なるが、実はすべて「集まれ」という意味ではないかと考えてみるということ。
- 2 鳥の鳴き声は仲間を呼んでいる可能性を信じるために、その鳴き声の意味をあえて疑うということ。
- 3 鳥の鳴き声が、「来い」という意味なのか、「来るな」という意味なのか、その真偽を確かめるということ。
- 4 鳥の鳴き声が、仲間を集めるための鳴き声である事実を、新たな実験を通して証明するということ。
- 5 鳥が仲間を呼ぶために鳴き声を発していることを、録音を通して、確かめるということ。

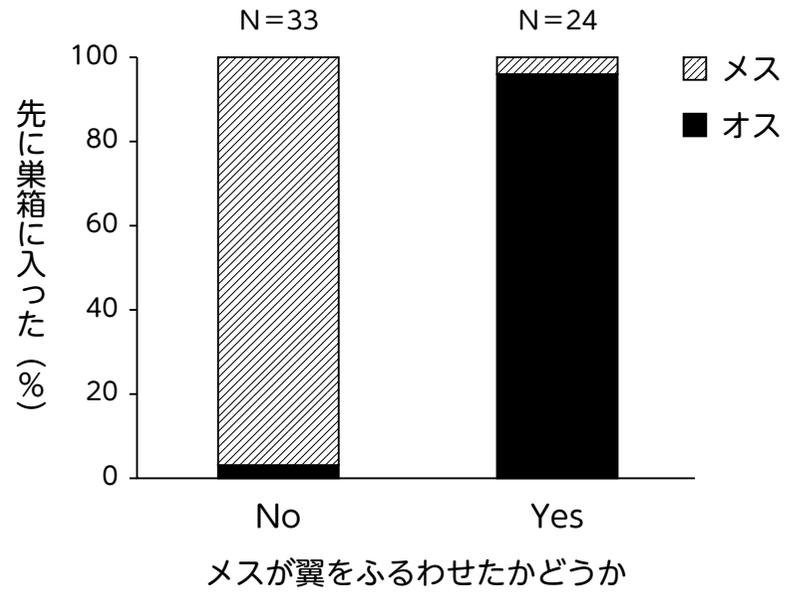
問四 ——線部D「それを聞いた鳥たちの反応を調べてみればよいのである」とありますが、なぜそう言えるのですか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 録音した鳥の鳴き声を聞いた鳥が、近づいてくるのか離れていくのかといった反応によって、鳥の鳴き声を持っている生物学的な意味が変わってくるだろうから。
- 2 もしも鳥の鳴き声が「集まれ」という意味であれば、鳴き声を聞いた鳥たちはスピーカーに近づき、「来るな」という意味であれば、スピーカーから離れるだろうから。
- 3 鳥の鳴き声が仲間を集めるためのだと証明するために、録音した鳴き声をスピーカーから流して、それを聞いた鳥の反応を調べる具体的な実験が必要だから。
- 4 調べたい鳥の鳴き声を含む複数の鳥の音声ファイルを、餌のない森で流せば、聞いた鳥が来るのか来ないのかといった反応で、鳴き声の意味が分かるだろうから。
- 5 録音した鳥の鳴き声をスピーカーから流して、仮に鳥たちが離れたり、近づいてくることになかったりすれば、鳥の鳴き声が「集まれ」という意味だと確定するから。

設問は、裏面に続きます。

問九 ……線部「統計学的な結論」について、次のグラフは、

同じ筆者の別の研究で、シジュウカラのオスとメスのつがい
の二羽が同時に巣箱の近くに餌をくわえてやってきた際、メ
ス一羽が翼を小刻みに前後にふるわせる動きに関わる行動を
数値化したものです。このグラフから言える結論として最も
適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。な
お、グラフのNは、全体の集まりの数を示します。



(東京大学先端科学技術研究センター 二〇二四年発表)

- 1 メスが翼をふるわせる動きには、オスに対して「お先にどうぞ」という意味がある。
- 2 シジュウカラのメスは、伴うオスによって、翼をふるわせたり、ふるわせなかったりする。
- 3 シジュウカラのオスは、全体的にはメスよりも強いことが理由として、優遇されている。
- 4 巣箱の近くにシジュウカラが近づいてきた時、メスは必ず翼をふるわせる動きをする。
- 5 生物である以上、ごく少数の割合で、大多数の動きとは異なる動きをする個体もいる。

二

次の文章は、蒼沼洋人『波あとが白く輝いている』の一節です。東日本大震災で母を亡くした小学六年生の三船七海は、亡き母の愛した小学校のお祭り（海光祭）の話聞き、震災後は中止していた海光祭を、コロナ禍のなか、復活させようと奮闘しています。以下は、七海と橘先生が、海光祭をめぐって会話をしている場面です。これを読んで、後の設問に答えなさい。

マスクを少しずらして、てのひらで顔に風を送りつつ、先生は白い歯を見せた。

「あのね、^{注1}新卒でこの学校に来たとき、わたし、真っ先に提案したの。先生たちに、海光祭、復活しませんかって」

5 え？

^A先生ははずかしそうに笑った。

「でも、だめだった。まあ、新人の先生なんてただでさえ発言力がないのに、わたしのやり方もまずかったからね。気持ちだけ先走っちゃって、橘先生は学校行事より、もっと授業に力を入れたらどうですかー、なんていわれちゃって。くやしかったな」

はーっ、と先生は大きく息をついた。

「だから、最初あなたたちから話を聞いたとき、絶対無理だと思った。あのときだめだったのに、今年うまくいくわけないって。海光祭は来年以降、コロナが終わって落ちついたら、また提案すればいいかなって。ごめんね」

先生は息を吸いこんだ。

^B「あなたたちに、来年はないのにね」

胸の奥がかすかにうずいた。

「なにかをはじめたり、変えようとするとき、必ずなにかをいう人がいる。真剣になるほど、その姿を笑う人がいる。絶対に傷つけないところから、石をぶつけてくる人がいる。とくにいまみたいな状況だと、大人でも正解がわからないから、あなたたちだけじゃどうにもならないことがある」

先生は強い口調でいった。

25 「だから三船さん。^Cそのためにわたしたちがいるの。先生がいるの。忘れないで」

その言葉は、わたしにまっすぐに届いた。うれしかった。

心の底から海光祭を復活させようとしている先生の想いが、痛

30 いくらい伝わってきた。

^Dだからこそ、いいのかな、と思った。

^{注2}橘七海さんのこと。

わたしがあの記事を読んだことを、先生は知らない。わたしは先生にかくしごとをしたくなかった。でも、知らないふりをする

35 のと、すべてを伝えることのどっちが正解なのか、わからない。もし自分が先生だったら、どうしてほしいだろう。わからない。

本当にわからなかった。

「――先生」

40 迷って、迷って、わたしは口を開いた。

もしかすると、全部話して楽になりたかっただけかもしれない。でも、ひとつひとつ言葉を選んで伝えているあいだ、楽になるどころか、胸が痛くて仕方なかった。

橘七海さんの名前を聞いたとき、先生はかすかに目を見ひらいた。でも、そのあとは窓に映る夜の色を見つめて、^bじつと耳を傾けていた。最後に小さな声で、わたしはきいた。

「先生の妹さんの名前も、七海、なんですか？」

先生はだまっただままだった。

50 やっぱり、きかないほうがよかったかな。わたしが後悔しかけたとき、先生は静かにうなずいた。

「たったひとりで、いろいろ調べて」

少しかすれた、張りつめた声だった。

^E「そんなむかしの記事まで、自分で見つけて」

気を悪くしたんだろうか。ほんの少し、こわくなる。

55 「七海って名前の子が、こんなに一生懸命、目の前でがんばってる。大人のわたしができなかったことを、友だちと力をあわせて、やりとげようとしてる」

窓ガラスのなかで、目があった。砂がくずれるみたいに、先生は笑った。

60 「そんなの、力がわかないわけじゃないでしょ」

先生はわたしの前でてのひらを広げた。はいっ、というので、おそるおそるタッチすると、べしっ、と湿った音がした。

「もういつかいっ」

65 先生がさげんだ。振りかぶって手を打ちあわせると、今度は、クラッカーが炸裂したみたいな、いい音がした。

「まだまだ、これからっ」

わたしはうなずいた。てのひらがじんじん痛かった。痛くて、^F気持ちよかった。その痛みを強くにぎりしめて、誓った。コロナがなんだ。

70 海光祭、わたしは絶対、あきらめない。

^{注1} 新卒 … 大学を卒業してすぐ。

^{注2} 橘七海 … 橘先生の妹。東日本大震災で亡くなった。本文の前の場面で、七海は死亡記事を見ていた。

二の設問

問一

~~~~線部 a～c の本文中における意味を表す語句として最も適当なものを、次の中から一つずつ選び、それぞれ番号で答えなさい。

#### a うずいた

- 1 寂しくなった
- 2 つらくなった
- 3 わくわくした
- 4 不安になった
- 5 熱くなってきた

#### b じっと

- 1 集中して
- 2 凝視して
- 3 悲しげに
- 4 うつろに
- 5 怪しんで

#### c じんじん

- 1 鋭く刺すように
- 2 耐えがたいくらい
- 3 涙があふれるほど
- 4 鈍く波打つように
- 5 感覚を失うほど

### 問二

——線部 A「先生はずかしそうに笑った」のはなぜですか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 橋先生がずっと秘密にしてきた新人の頃の失敗を、七海に對して初めて打ち明けたから。
- 2 当時、経験も浅い橋先生にとって、思い切った提案することとは初めてのことだったから。
- 3 着任後すぐでも、海光祭を復活させようと熱くなっていた昔の自分を未熟に思ったから。
- 4 他から期待されている仕事をせずに、気持ちだけで提案するやり方に問題があったから。
- 5 周囲の先生から、学校行事よりも授業準備に励むよう助言され、思わず我に返ったから。

### 問三

——線部 B『あなたたちに、来年はないのね』とありますが、このときの橋先生の思いの説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 教員である自分は来年以降も小学校での生活は続くが、小学六年生である七海たちは来年がないことを、改めて実感している。
- 2 七海たちは小学六年生だから、海光祭の復活を提案し続けられ、願いが実現するかもしれないと、七海たちを勇気づけている。
- 3 七海たちの立場に寄り添うことを通して、海光祭の復活は不可能だと勝手に判断したことに対する非難をかわそうとしている。
- 4 たとえ来年以降に海光祭を復活できたとしても、七海たちはすでに小学校を卒業していることに気づき、寂しさを感じている。
- 5 自分の事情しか考えず、小学生最後の七海たちの思いを拒絶しようとしていたことに思い至り、心から申し訳なく思っている。

### 問四

——線部 C「そのためにわたしたちがいるの」とありますが、ここで橋先生はどういうことを言っているのですか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 何かを始めたたり、変えようとしたりすると、必ず反対する人が出てくるため、そういう人から子どもを守るのが先生の役目だということ。
- 2 コロナ禍のような時代では、子どもたちだけで海光祭を復活させることが難しいという現実を、七海には知っておいてほしいということ。
- 3 いかなる状況であっても七海たちが小学校最後の思い出を作ることができるよう、学校の先生はいることを忘れないでほしいということ。
- 4 コロナ禍のような状況で、子どもだけでは難しいことでも実現できるよう、味方になる大人がいることを覚えておいてほしいということ。
- 5 かつて新人だった時には海光祭の復活を提案してもだめだったけれど、今は七海たちもいるから、ぜひ海光祭を復活させたいということ。

設問は、裏面に続きます。

問五 ——線部D「だからこそ、いいのかな、と思った」とありますが、それはどういうことですか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 七海は、海光祭と同じくらい橘七海のことにも気になっていたので、ちょうど良い機会だから同じ名字の橘先生に二人の関係を質問すべきだと思ったということ。
- 2 七海は、橘先生が心から海光祭の復活を望んでいると感じたため、今なら橘先生が過去にとらわれていないかどうかを確認してもいいだろうと思ったということ。
- 3 橘先生が全力で七海を応援してくれていると伝わってきたため、七海は、祭とは無関係なことを質問しても、おそらく先生は気を悪くしないと思ったということ。
- 4 橘先生が自分に対して本気で向き合ってくれているから、七海も先生に隠し事をせず、橘七海との関係を率直に聞いてもいいのかもしれないと思ったということ。
- 5 七海は、橘先生が一切の隠し事をせず接してくれていると感じたため、先生は、きっと橘七海との本当の関係についても教えてくれるだろうと思ったということ。

問六 ——線部E『そんなむかしの記事まで、自分で見つけて』とありますが、この橘先生の発言の意図を、七海はどのように受け止めたと考えられますか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 自力で色々調べて、遠い昔の記事まで掘り起こしてくるような余計なことをして大変迷惑だ。
- 2 妹と同じ名前の七海が、海光祭を復活させようと頑張っている姿に、とても力が湧いてくる。
- 3 海光祭について調べるなかで、自分と関わりのある記事まで見つけるなんて、大したものだ。
- 4 久しぶりに妹のことを質問され、大切につながりを思い出せたことに、心から感謝している。
- 5 妹に関する昔の記事を見つげるくらい、たったひとりで色々調べて、一生懸命頑張っている。

問七 ——線部F「痛くて、気持ちよかった」とありますが、なぜ七海はそう感じたのですか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 最初に橘先生にタッチした時は、遠慮して上手に打ち合わせるできなかったが、二回目は、乾いた、いい音を出すことができたから。
- 2 橘先生の妹について質問したことが気になっていたが、先生と手のひらを打ち合わせて、先生は気にした様子はないと思ひ、安心したから。
- 3 橘先生から叩かれた手のひらの痛みにも、海光祭の復活の可能性はまだまだ残されていると、強く励まされているような温かさを感じたから。
- 4 橘先生と手のひらを打ち合わせた痛みにも、今ここに自分は生きていると実感し、海光祭の復活を諦めてはならない使命感を取り戻したから。
- 5 海光祭の復活に向けて、橘先生と臆せず手を打ち合わせた痛みを通して、先生と心の底から気持ちを伝え合えたような爽快感を感じたから。

問八 本文の構成・表現の説明として、適当なものは○、適当でないものは×と、それぞれ記号で答えなさい。

- 1 本文は、七海と橘先生の視点から、物語が展開されている。
- 2 1行目の「マスクを少しずらして」は、時代を反映した表現だと解釈できる。
- 3 5行目「え?」、32行目「橘七海さんのこと。」など、要所で七海の内面がカギカッコを用いずに表現されている。
- 4 7行目「なんて」は、軽視する気持ちが込められている表現である。
- 5 20行目から21行目の「絶対に傷つかなるところから、石をぶつけてくる人がいる」は、擬人法である。
- 6 37行目から43行目では、反復表現や対比、「——」を用いて、七海の悩みが印象的に描かれている。
- 7 31行目と49行目は、「耳で感じ取る」という意味で、対照的な表現だと解釈できる。
- 8 69行目「コロナがなんだ」の「なんだ」には、恐れずに立ち向かう気持ちが表れている。

↓ここにシールを貼ってください↓

|  |
|--|
|  |
|--|

|      |  |  |  |
|------|--|--|--|
| 受験番号 |  |  |  |
|      |  |  |  |

|    |  |
|----|--|
| 名前 |  |
|----|--|

2026年度 須磨学園夙川中学校 第1回入学試験 解答用紙 国語

|    |     |   |    |   |    |    |    |    |  |  |   |   |    |    |    |    |    |
|----|-----|---|----|---|----|----|----|----|--|--|---|---|----|----|----|----|----|
| ※  |     | ※ |    |   |    |    |    |    |  |  | ※ | ※ | ※  | ※  | ※  |    |    |
| 問九 | 問八  |   | 問七 |   | 問六 |    |    |    |  |  |   |   | 問五 | 問四 | 問三 | 問二 | 問一 |
|    | c   | a | 4  | 1 |    |    |    |    |  |  |   |   |    |    |    |    |    |
|    | ( ) |   | 5  | 2 |    |    |    |    |  |  |   |   |    |    |    |    |    |
|    | b   |   | 6  | 3 |    |    |    |    |  |  |   |   |    |    |    |    |    |
|    |     |   |    |   | 80 | 60 | 40 | 20 |  |  |   |   |    |    |    |    |    |

(※の欄には、何も記入してはいけません)

一

|   |
|---|
| ※ |
|---|

|   |    |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |   |
|---|----|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|---|
| ※ |    |   |   |   | ※  | ※  | ※  | ※  | ※  | ※  | ※  | ※ |
|   | 問八 |   |   |   | 問七 | 問六 | 問五 | 問四 | 問三 | 問二 | 問一 |   |
|   | 7  | 5 | 3 | 1 |    |    |    |    |    |    | c  | a |
|   |    |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |   |
|   | 8  | 6 | 4 | 2 |    |    |    |    |    |    | b  |   |
|   |    |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |   |

(※の欄には、何も記入してはいけません)

二

|   |
|---|
| ※ |
|---|

|   |
|---|
| ※ |
|---|

